

三郷市立彦成中学校

国語

単元名 三郷市の魅力を「Wikipedia」の編集者に提案しよう
多様な視点から「魅力的な提案をしよう」 第2学年



自分たちの提案内容を確認し、提案発表の準備を行う場面



ICTを効果的に活用しながら、相手意識・目的意識をもった意欲的な発表を行う生徒の姿

参会者アンケート等から

研究会のあり方・全体的な感想

【授業について】

- 生徒たちが意欲的に取り組む姿に感動した。
- 地域単元の魅力を実感することができた。
- 先生の熱意が伝わる授業で、生徒が主体的に取り組んでいることが何より素晴らしかった。
- 情報の扱い方という部分で自分自身が模索している所で大変参考になった。
- 授業の細部まで考えられており、目標（理想）となる授業だった。
- 子供たちが主体的に学ぶための工夫がたくさんあって自分も同じような工夫を実践していきたいと思った。また、課題とまとめを正対させることについてより意識しようと感じた。
- どのような単元計画にすると、子供たちが主体的に学んでいくのかがわかった。
- 根拠を示して、情報を精査する学習の評価、単元計画の実践について学ぶことができた。



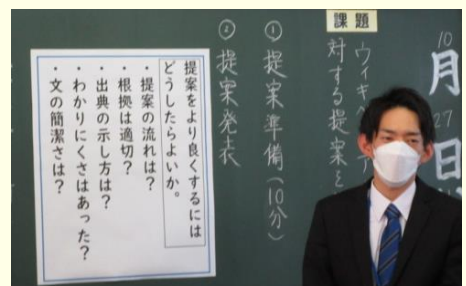
1 乳幼児期から読書の世界に触れる機会を大切にします。

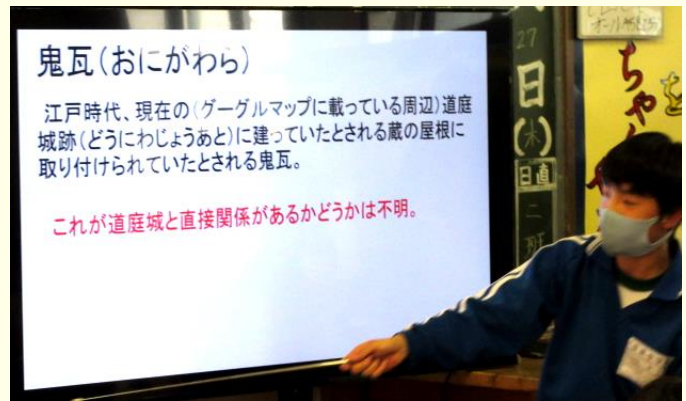
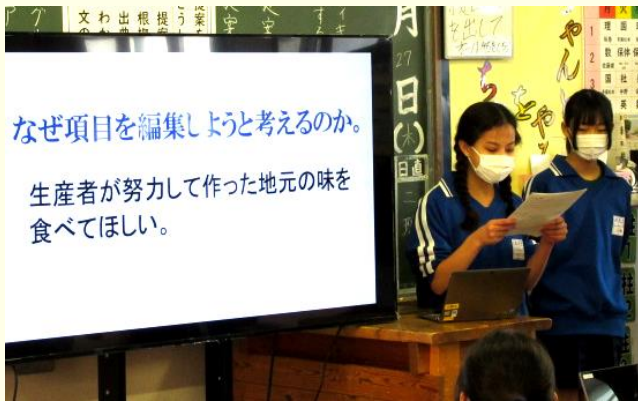
日本一の読書のまち宣言

他にも

- ・家読をすすめます。
- ・人と本をつなぐネットワークづくりをすすめます。

三郷市立彦成中学校
日本一の読書のまち宣言
宣言文作成委員会
2022年10月24日





【協議について】

- 自分の思いつかない展開や視点が多くあり、大変勉強になった。
- 意見を交わし合う中で、日頃の授業で意識したいこと、教材研究を深めていく大切さなど得ることが多くあった。
- 様々な視点で意見を交換することができ、大変参考になった。同じ教科の先生方と協議を深めたことが、貴重な機会となった。
- 単元を通して生徒が取り組む内容が明確であった。自ずと生徒の主体性が高まり、必要感のある対話が自然と生まれていた。
- 聞き手は、各班の発表がWikipediaの編集者に伝わるような構成になっているか等、視点を明確にもつことで、より指導が深まると感じた。
- パワーポイントをただ読むのではなく、資料を活用して話す内容を決めている班があった。映像と言葉を組み合わせるとより分かりやすく伝えることができていた。
- どの班の提案も根拠が明確で、三郷市の魅力を伝えるという目的を果たしていた。その中で、友達同士の関わりも深くなり、よりよい提案になっていた。



『私の授業の観てほしいポイント』に沿った研究協議



授業分析表



各班の協議内容の発表